

平成 29 年度 定時 会員 総会 議案

【第 1 号議案】

平成 29 年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書（報告事項）
自平成 29 年 1 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日

【第 2 号議案】

平成 30 年度
事業計画、収支予算書（報告事項）
自平成 30 年 1 月 1 日 至 平成 30 年 12 月 31 日

【第 3 号議案】

理事及び監事選任（選任決議事項）
任期 2 年（平成 32 年まで）

※注記 1

「会員（社員）総会参考書類」を本書は兼ねています。

※注記 2

「平成 29 年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

平成 30 年 3 月 9 日
公益社団法人北海道倶楽部

平成 29 年度定時会員総会 議案

【第 1 号議案】 (●報告事項及び●承認事項)

平成 29 年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自平成 29 年 1 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日

●報告事項

「平成 29 年度庶務事項報告 (総会、理事会報告 詳細は各議事録に記録)」 . . . 1 ページ

「平成 29 年度事業報告」 . . . 11 ページ

「平成 29 年度 会員異動状況」 . . . 17 ページ

●承認事項

「損益計算書 (正味財産増減計算書)」 . . . 18 ページ

「貸借対照表」 . . . 19 ページ

「財産目録」 . . . 20 ページ

「キャッシュフロー計算書」 . . . 21 ページ

「計算書類に対する注記」 . . . 22 ページ

●報告事項

「監査報告書」 . . . 23 ページ

【第 2 号議案】 (●報告事項)

平成 30 年度 事業計画、収支予算書

自平成 30 年 1 月 1 日 至 平成 30 年 12 月 31 日

●報告事項

「平成 30 年度事業計画書」 . . . 24 ページ

「平成 30 年度収支予算書」 . . . 27 ページ

【第 3 号議案】 (●選任決議事項)

理事及び監事選任 任期 2 年 (平成 32 年まで)

●選任決議事項

「理事及び監事選任」 . . . 28 ページ

(金額は原則円単位です。)

平成 29 年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）
平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 平成 28 年度定時会員総会 3 月 3 日</p>	<p>「平成 28 年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の 1～23 頁に基づき説明した。 議長は五十嵐紀男監事に監査報告を求めた。 監事は「平成 28 年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と報告した。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>「平成 29 年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料 25～28 頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本報告議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>議長から、全般にわたり意見を募った。（詳細省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後 1 時 30 分過ぎ、議長は平成 28 年度定時会員総会の終了を告げた。</p> <p style="text-align: right;">（於 永田町ほっかいどうスクエア 2 階会議室）</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2 月 16 日</p> <p>各理事会では、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 書面理事会を除き、各理事会の前若しくは同時開催で同様の議案で理事陪席の上評議員会を開催している。</p>	<p>第 1 号議案 「事業報告等に係る提出書」[内閣府申請書類] 提出について決議する件 ・平成 28 年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録の承認 ・平成 29 年度 事業計画、収支予算書の報告</p> <p>第 2 号議案 平成 28 年度会員総会に係る件(定款第 29 条第 1 項第 1 号の事項) (別冊の「平成 28 年定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき審議をお願いします。)</p> <p>第 3 号議案 評議員の辞任、理事会の推薦及び会員入退会、会員数ほかについて (1) 評議員の辞任 (2) 評議員の理事会推薦 (3) 会費未納 (3 年以上) 会員の会員資格喪失者についての報告 (4) 会員の入・退会(登録会員の登録・抹消)、会員推移は添付資料の通り。新入会員は別冊記載のとおり。</p> <p>第 4 号議案 その他 (1) 新年交礼会実施結果について</p>

種 別	概 要
	<p>キャンペーン 「北方領土返還」、「北海道新幹線早期実現」、「地域振興・ふるさと納税」をテーマに1月27日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間で下記の通り多数の出席者のもと盛大にキャンペーン集会が行われました。</p> <p>(2) 松田会長が1月1日付けで「北海道150年事業実行委員会」理事に就任しました。</p> <p>(3) 平成29年北方領土返還要求全国大会に参加しました。(2月7日、国立劇場・大劇場)</p> <p>(4) 政府広報「霞が関からお知らせします 2017」でブラウンリボンバッジが紹介されました。</p> <p>(5) 本年度講演会については皆様のご意見を戴き部会で検討いたします。</p> <p>(6) 平成29年度寄附のお願いの件、税額控除対象法人の認定申請の件</p> <p>(7) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報)自治体紹介ページ今後の掲載スケジュールについて</p> <p>(8) 4月からの事務局業務について ・嘱託職員の雇用条件改定について ・企画、会報制作ほかの業務委託契約終了後の対応について (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>4月28日 (書面理事会)</p>	<p>第1号議案 事業報告書、貸借対照表等の承認・報告の件</p> <p>(1) 会員総会について 3月3日の「平成28年度定時会員総会(社員総会)」で事業報告書、貸借対照表、損益計算書などについて報告、承認を得ました。 これらは3月23日に内閣府に提出し、公告しました。</p> <p>(2) 誤仕訳について</p> <p>第2号議案 評議員辞任、就任、相談役辞任の件</p> <p>第3号議案 新入会員審査の件</p> <p>第4号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 寄附金の状況(平成29年4月27日現在)</p> <p>① 28年実績 102人、3,161,000円 29年予算 3,350,000円</p> <p>② 応募100人、3,104,000円 入金者数69人、入金実績2,051,000円</p> <p>(2) キャンペーンの状況(平成29年4月27日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 534個・103,750円/39,572個・6,487,963円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 159個・39,500円/2,130個・415,170円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 62個・15,500円/3,286個・542,908円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数/同累計・金額 0枚・0円/476個・380,600円</p>

種 別	概 要
	<p>(3) 賛同・後援名義使用について（事後承認）</p> <p>① 「2017 年青少年のための科学の祭典-北海道内の大会」後援名義使用承認のお願い</p> <p>(4) 講演会について ご意見をお願いします。</p> <p>(5) 今後の予定ほか 以下の詳細な対応については、評議員会・部会で検討します。</p> <p>① 北方領土 ビザ無し交流</p> <p>② 交流の夕べ（予定）8月4日（金）18時 銀座七丁目ライオン。</p> <p>③ 北方領土隣接地域（1市4町）交流は未定。</p> <p>④ ノサップ岬マラソンは8月20日（日曜日）の予定。</p> <p>⑤ 情報展示イベント、代々木北海道フェア参加について（9月28日（木）～10月1日（日）代々木公園イベントスペース 予定）</p> <p>⑥ 交流イベント（予定）10月26日（木）18時 明治記念館</p>
6月19日	<p>第1号議案 評議員、評議員会副議長（企画部会長）辞任、就任の件</p> <p>第2号議案 交流の夕べの件</p> <p>(1) 日時：平成29年8月4日（金）18～20時</p> <p>(2) 場所：銀座クラシックホール</p> <p>(3) 会費：7,000円</p> <p>(4) 参加者：広く募集する、約100人の予定</p> <p>(5) テーマ：北海道倶楽部の下記キャンペーンを紹介、広報する。</p> <p>① 北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ キャンペーン</p> <p>② 北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ、「千島桜」バッジ キャンペーン（「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD）</p> <p>③ 地域貢献 夕張市から本年も夕張支援のため、夕張メロン配布等の協力をお願いしたい。なお、北海道”NOW”7月号4面の全面を夕張市が出稿し交流の夕べと相乗効果をはかる。</p> <p>(6) 北海道関係者の交流に資する。</p> <p>(7) アトラクション（「ビヤホールの日」の恒例のアトラクション”サンバ”を予定）</p> <p>(8) 詳細は部会で検討する。</p> <p>第3号議案 第1回最東端ねむろシーサイドマラソン大会協力の件（本年度は協力せず。）</p> <p>第4号議案 北海道フェア参加の件 昨年同様代々木の北海道フェアに参加する。（詳細は部会で検討する。）</p> <p>(1) 参加内容：</p> <p>① 北海道情報の発信（倶楽部キャンペーンについての広報を主体）</p> <p>② テント内にテーブルを設置しパネル、パンフレットの展示、バッジの展示・配布。</p> <p>③ 北方領土返還要求推進の署名活動</p>

種 別	概 要
	<p>④ 「北海道情報紙“北海道NOW”を代々木近辺に新聞折込配布」を昨年同様実施の予定。</p> <p>(2) 日程：9月28日(木)～10月1日(日) 本年も4日間開催</p> <p>(3) 場所：代々木公園B地区イベント広場(NHKホール横)</p> <p>第5号議案 交流イベントの件</p> <p>(1) 本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月26日(木)18時に行う予定。</p> <p>(2) カボチャ配布など昨年同様に実施の予定であるが、詳細については部会で検討する。</p> <p>第6号議案 特別講演会の件</p> <p>皆様からご意見を出して頂き、下記などについて部会で検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倶楽部の公益事業に関係するテーマであること。 ・倶楽部役員を講師とする場合。 ・新幹線函館開業を踏まえた鉄道、航空などをテーマとする場合。 <p>第7号議案 その他、イベント協力依頼等</p> <p>本年もふるさと北海道応援フォーラム についての協力、後援名義承諾依頼が来ましたので、ご了承願います。</p> <p>① 依頼者 北海道 知事 高橋はるみ</p> <p>② 日時 平成29年8月31日(木)</p> <p>③ 場所 ホテルメトロポリタン・エドモント</p> <p>④ ブース 会場内に倶楽部のブース設置予定</p> <p>第8号議案 会員入退会、会員推移の件</p> <p>添付資料の通りご承認下さい。</p> <p>第9号議案 その他</p> <p>(1) 北方領土 ビザ無し交流推薦者</p> <p>(2) 寄附金の状況(6月15日現在)</p> <p>① 28年実績135人、3,061,000円 29年予算 3,350,000円</p> <p>② 応募102人、3,174,000円 入金者数98人、入金実績3,074,000円</p> <p>(3) キャンペーンの状況(平成29年6月15日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 772個・154,500円/39,810個・6,538,713円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 229個・53,250円/2,200個・428,920円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 72個・18,000円/3,368個・563,408円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数/同累計・金額 0枚・0円/476枚・380,600円</p> <p>(4) HP修正 入力後 印刷もしくはメール送信出来る様に修正した。 入会など申込書、北方領土 新幹線 バッジ申込書</p>

種 別	概 要
	<p>(5) 「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」から顧問推薦の打診</p> <p>標記財団（通称 PMF 組織委員会、資料添付）から岡村理事長を顧問の一人として迎えたいとの打診（林常務理事担当）があったので承諾したい。なお、倶楽部に負担はない。交流イベント等での協賛演奏の話題も出ている。</p> <p>PMF 組織委員会とは</p> <p>「レナード・バーンスタイン」氏の提唱により、1990年に創設された国際教育音楽祭PMFを主催・運営する公益財団法人。音楽教育・人材育成という立場から社会に貢献するとともにクラシック音楽の普及と発展を事業の目的としています。札幌市が中心となって任意団体を発足したのがはじまり。</p> <p style="text-align: right;">（於 北海道東京事務所 会議室）</p>
<p>8月31日 （書面理事会）</p>	<p>第1号議案 評議員辞任、就任の件</p> <p>第2号議案 立入検査、補正（修正）、税額控除に係る証明申請の件</p> <p>以下の通りご報告致します。ご承認下さい。</p> <p>(1) 内閣府の立入検査が平成29年7月28日（金）午前10時から午後5時まで行われた。（別紙 通知参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事、監事の就任承諾書に法で定める欠格事項に該当しない旨の自己申告を記載することを求められました。（以後提出される就任承諾書から） ・書面による指摘事項は未着ですが、その他の指摘事項は平成28年の事業報告に対する補正（修正）項目の通りです。 <p>(2) 8月24日（第1回）、25日（第2回）に平成28年の事業報告に対する修正を提出しました。</p> <p>(3) 8月24日に税額控除に係る証明申請書を提出しました。</p> <p>第3号議案 後援名義の使用承認の件（事後承認 下記添付資料）</p> <p>「代々木北海道フェア」の後援名義である。従来通り承認したい。</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件</p> <p>新入会員については「第2号議案 資料（新入会員審査の件）」のとおりご承認願います。</p> <p>第5号議案 その他（報告、承認事項）の件</p> <p>以下の件ご承認願います。</p> <p>(1) 寄附金の状況（8月28日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 28年実績 135人、3,061,000円 29年予算 3,350,000円 ② 応募102人、3,174,000円 入金者数99人、入金実績 3,094,000円 <p>(2) キャンペーンの状況（平成29年8月28日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ブラウンリボンバッジの状況 <p>本年度頒布数・金額/同累計 1,264個・236,000円/ 40,302個・6,620,213円</p>

種 別	概 要
	<p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 263 個・60,750 円／ 2,234 個・436,420 円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 74 個・18,500 円／ 3,372 個・564,408 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数／同累計・金額 0 枚・0 円／ 476 個・380,600 円</p> <p>(3) 交流の夕べ開催について 下記の通り、倶楽部のキャンペーン集会を行った。 日時：8 月 4 日（金）18 時 場所：銀座七丁目ライオン 会費：夕張支援会費 1 万円（夕張メロン付き）通常会費 7 千円 参加：102 人 メロン発注総数：78</p> <p>(4) 平成 29 年ふるさと北海道応援フォーラム後援（予定） 6 月理事会で承認頂いた倶楽部後援のフォーラム（8 月 31 日）では松田会長が出席し、交流会の最初に挨拶を行う予定。 今回は倶楽部で取りまとめて参加申込をした。（28 人）</p> <p>(5) 特別講演会開催について 8 月 3 日の企画部会で下記の通り開催する事となりました。 日時：平成 29 年 9 月 13 日 13 時 30 分 場所：アイオス永田町会議室（倶楽部事務所の 2 階） 演題：「北方領土問題—プーチンの本音」 講師：渡辺玲男氏 （北海道新聞 前モスクワ特派員、東京報道センター次長） 参加予定：約 70 人（会員、一般） 内容：講師の渡辺氏は今年の 6 月まで 3 年余りモスクワ特派員を務められた。最新のロシア情勢や日ロ関係の話などをされる予定。</p> <p>(6) 北方領土ノサップ岬マラソン大会への協力 昨年度でこの大会の企画が終了した。倶楽部の事業としても終了する。</p> <p>(7) 「北海道・ロシア地域間協力チーム」参加申込の件 本件の申込をいたします。義務、負担はなくロシア・北海道地域間動向の情報の提供等を受けられるとのこと。</p> <p>(8) イベント、広報等の予定</p> <p>1) 情報展示イベント、代々木北海道フェア参加</p> <p>① 日時：9 月 28 日（木）～10 月 1 日（日） ② 場所：代々木公園イベントスペース ③ 展示等：ブラウンリボンバッジ、千島桜バッジ、新幹線早期実現バッジ頒布（有料） ④ 北方領土返還要求署名活動（北海道、内閣府） ⑤ NPO 住んでみたい北海道 コーナー設置（検討中） ⑥ 詳細は事業部会で検討する。</p>

種 別	概 要
	<p>2) 北海道NOW別冊10万部を新聞折込</p> <p>① 日時：昨年同様に代々木公園周辺の朝日、読売、毎日購読者に折込配布する。9月28日(木)10万部一括配布。</p> <p>② 内容：倶楽部キャンペーン、代々木フェア協賛記事。</p> <p>3) 交流イベント</p> <p>① 日時10月26日(木)18時 明治記念館</p> <p>② 詳細は事業部会で検討する。</p>
10月19日	<p>第1号議案 北海道フェア in 代々木出展報告の件</p> <p>代々木で開催された恒例の「北海道フェア in 代々木」は天候に恵まれ(前年比101.9%)409,964人の入場者であった。(前年は400,767人)</p> <p>今年も倶楽部は会場周辺の全国紙朝刊に北海道情報紙「北海道NOW」を11万部印刷し、新聞に折り込み、倶楽部キャンペーンの広報活動を行った。印刷費402,800円、折込費480,654円、合計908,118円</p> <p>当日の入場者に向けて倶楽部のブースを設け、北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線キャンペーンなどを行った。</p> <p>倶楽部のブースでは、キャンペーンバッジやCDの販売、さらに「利尻花折昆布」の無料配布(合計250個、費用は住んでみたい北海道推進会議の無償提供)を行い、盛り上げた。</p> <p>今年も北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース前に署名コーナーを設け、内閣府北方対策本部から応援が来て、北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名(合計1,720筆(昨年1,765筆))が寄せられた。来年も、署名活動に協力したい。</p> <p>第2号議案 交流イベント、平成30年新年交礼会の件</p> <p>(1) ご案内状を発送済みである。本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月26日(木)18時に開催予定である。別紙の次第(予定)で、「地域活性化(ふるさと納税推進)」「北方領土返還」「新幹線早期実現」のキャンペーンを行う。基本的には昨年と同様内容での開催する。</p> <p>1) ブース設置について</p> <p>① 「千島桜ねむろプロジェクト推進事業」では昨年に続き、北海道根室振興局が3人参加でブースを出展し、管内商品の紹介、試食、景品の提供などを行い北方領土隣接地域の振興のためのPRを行う予定である。</p> <p>② 「ほっかいどう未来チャレンジ基金」はふるさと納税による企業・団体や個人の寄付と道の拠出金を原資に、若者の留学費用や海外研修費を助成している。今年度は、学生留学・スポーツ指導者・文化芸術・未来の匠の4コースで10名の若者が海外にチャレンジする。ふるさと納税推進の観点からブースを設け支援をお願いする。</p> <p>③ PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)は</p>


種 別	概 要
	<p>20世紀を代表する指揮者であり、作曲家であった、故レナード・バーンスタインが札幌にて創設し、1990年から28回開催されている国際教育音楽祭で、これまでに76カ国・地域から延べ約3400人の若手音楽家を輩出している。今回4人の若手演奏家による演奏を披露し、ブースを設け、景品（PMFオーケストラ公演・ペア招待券）の提供などを行う。倶楽部として地域振興・活性化の観点からPMFへの支援をお願いする。</p> <p>(2) 平成30年新年交礼会は下記日時、場所で昨年に準じ、会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として開催する。</p> <p>平成30年1月26日（金）18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>第3号議案 その他、報告事項</p> <p>(1) 前回理事会で報告の通り税額控除に係る証明書を8月に内閣府に申請していたが10月11日付で証明書を発行された。（別添資料参照） 概算で2千円を超えた寄附額の50%相当の税額控除となる。（所得税40%+住民税10%）</p> <p>(2) 寄附金の状況</p> <p>① 29年予算 335万円</p> <p>② 10/18実績 309.4万円、99人</p> <p>(3) 会費の入金状況</p> <p>① 29年予算 864万円(内訳正会員267万円 維持会員597万円)</p> <p>② 10/18実績 769.5万円(内訳正会員217.5万円 維持会員552万円)</p> <p>(4) ブラウンリボンバッジの状況 本年度（10/18現在）1,301個、累計40,339個</p> <p>(5) 千島桜バッジの状況 本年度（10/18現在）309個、累計2,280個</p> <p>(6) 北海道新幹線バッジの状況 本年度（10/18現在）98個、累計3,396個</p> <p>(7) ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度（10/18現在）1枚 累計477枚</p> <p>(8) 北海道150年事業への協力状況 本年度は広報紙への掲載を、種々行った。</p> <p>(9) 来年度の事業計画・予算 標記の件、12月が内閣府への提出期限である。原則として、本年と同様の計画並びに予算を理事長名で提出したい。詳細は一任願いたい。ただし、来年度は会員名簿の発行年であり、それに伴う修正がある。</p> <p style="text-align: right;">（於 北海道東京事務所 会議室）</p>

種 別	概 要
12月15日	<p>第1号議案 平成30年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件（別紙参照）</p> <p>定款第50条の定めにより、標記の件については、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し会員総会に報告するとされている。</p> <p>(1) 事業計画書について 別紙の通り、平成30年の事業計画を作成した。基本的に平成29年度事業計画書に準じ作成した。以下の3項について特記する。</p> <p>1) 「北方領土ノサップ岬マラソン」が35回で終了し、本年から北方領土と直接の関連が無くなり、リニューアル開催となったので、6月理事会議案の通り平成29年度より協力を止めた。</p> <p>2) 広報活動の項で、「北海道NOW」の道内各自治体の紹介ページ（ふるさと納税なども紹介）を継続するとともに、これらを収録した小冊子「北海道の市町村をご紹介」のHP版発行を企画する。</p> <p>3) 平成30年は隔年の会員名簿発行年である。10月発行配布の予定としたい。会員名簿に特化せず、公益事業に資する頁をも設けることとしたい。</p> <p>(2) 収支予算書について 平成29年の仮決算を踏まえ、平成30年事業計画を遂行するため別紙の通り、平成30年度収支予算を作成した。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み</p> <p>第2号議案 平成29年事業報告等の作成、日程の方針について</p> <p>(1) 平成29年度「事業報告」等は昨年に準じて作成しその後、監査を受け、2月理事会で承認後招集通知、議案を印刷発送し、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとしたい。総会は日程調整の上、会議室を別途借用し開催したい。（当ビルの会議室は来年予約開始）</p> <p>(2) なお、3月の平成29年度定時会員総会は役員（理事・監事）改選期となる。</p> <p>第3号議案 イベントの開催及び参加について</p> <p>(1) 本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月26日（木）18時に約280人の参加者を迎え開催した。昨年と同様の次第で、「地域活性化」「北方領土返還」「新幹線早期実現」のキャンペーンを行った。</p> <p>1) 「千島桜根室プロジェクト」は、北海道根室振興局から2人参加し、ブースを出展し、管内商品の紹介、試食、景品の提供などを行い地域の振興のための活動を行った。</p> <p>2) 「北海道未来チャレンジ基金」は、北海道政策部総合政策部から2人参加し、ブースを出展し、基金の紹介、ふるさと納税によるご協力の要請等の活動を行った。</p> <p>3) 「パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）」は、公益財団法人PMF組織委員会から上田会長（前札幌市長）ほか2名参加</p>

種 別	概 要
	<p>し、ブースを出展し、PMFの紹介とPMFへの協力要請を行った。また、4名の演奏家による演奏を披露した。曲目に恒例の森繁久彌の「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を加えて頂いた。</p> <p>4) 事業収支は別記の通りである。昨年より赤字額が増加した。今後の対応課題である。</p> <p>(2) 「北方領土返還要求中央アピール行進」参加報告(別紙「礼状」参照) 本年12月1日の標記行動(参加者500人)に岡村理事長以下(参加申込総計9名)で参加した。冒頭の根室市の長谷川俊輔市長の開会の辞で、倶楽部名をも挙げ参加に感謝するとのメッセージがあった。</p> <p>(3) 「北方領土返還要求全国大会」に参加予定 恒例の標記全国大会(平成30年2月7日、国立劇場 大劇場)に参加する。</p> <p>(4) 「平成30年新年交礼会」開催予定 10月理事会で決議の通り会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として例年に準じ下記の要領で開催する。 平成30年1月26日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件、会員数について 新入会員、会員数は別紙記載のとおり。衆議院議員選挙による入会者があった。</p> <p>第5号議案 その他報告事項</p> <p>(1) 「ふるさと北海道応援フォーラム」の事業報告</p> <p>(2) 寄附金の状況</p> <p>① 29年予算 335万円</p> <p>② 12月19日現在実績 309.4万円、99人</p> <p>③ 平成30年度寄附金のお願い・募集は29年度と同様3月開始の予定。</p> <p>④ 税額控除の適用となる。</p> <p>(3) 会費の入金状況</p> <p>① 29年予算864万円(内訳正会員267万円 維持会員597万円)</p> <p>② 12月19日現在実績 801万円(内訳正会員237万円 維持会員564万円)</p> <p>③ 平成30年度会費(1月～12月分)の請求は4月の予定。</p> <p>(4) ブラウンリボンバッジの状況 本年度(12/19現在)1,354個、累計40,392個</p> <p>(5) 千島桜バッジの状況 本年度(12/19現在)337個、累計2,308個</p> <p>(6) 北海道新幹線バッジの状況 本年度(12/19現在)100個、累計3,361個</p> <p>(7) ちぎれ千島に雲がとぶ(CD)の状況 本年度(12/19現在)1枚 累計477枚</p> <p style="text-align: right;">(於 北海道東京事務所 会議室)</p>

種 別	概 要		
<p>1. キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1月27日</p>	<p>1月27日(金) 18時 ホテルニューオータニ「麗の間」会費1万円 約130名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「北海道新幹線早期実現」「地域振興・ふるさと納税」をテーマに新年交礼会を開催した。(次第、写真及び会報記事参照)</p>  <div data-bbox="885 152 1476 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center;">公益社団法人北海道倶楽部 平成29年新年交礼会</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1. 開会の辞 北海道倶楽部理事長 岡村 進</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>3. 来賓挨拶 国土交通省 北海道局長 田村 秀夫 様 北海道 副知事 山谷 吉宏 様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>5. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>6. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)を願います。</p> <p>7. 閉会(流れ解散) 8:00</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 今津 寛 衆議院議員 松木 謙公 新党大地 代表 鈴木 宗男</p> <p>国土交通省 北海道局長 田村 秀夫</p> <p>北海道 北海道 副知事 山谷 吉宏 北海道 東京事務所長 岡田 恭一 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 若生 貴仁 札幌市 東京事務所副所長 舘佐 寿彦 苫小牧市 東京事務所長 佐々木 清美 室蘭市 東京事務所長 齋藤 和則</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">平成29年1月27日(金)午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>We Love Hokkaido</p> <p>北方領土返還・地域活性化 キャンペーン</p> <p>北海道新幹線早期実現 ブラウンリボンバッジ 北方領土返還</p> <p>千島桜 シンボルバッジ 北方領土返還</p> <p>地域活性化 ふるさと納税</p> <p style="font-size: x-small;">ご来場の方は「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」「新幹線バッジ」の何れかを お付けいただこう、お願い申し上げます。(受付で用意しております。4個1組千円)</p> </div> </div>	<p>1. 開会の辞 北海道倶楽部理事長 岡村 進</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>3. 来賓挨拶 国土交通省 北海道局長 田村 秀夫 様 北海道 副知事 山谷 吉宏 様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>5. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>6. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)を願います。</p> <p>7. 閉会(流れ解散) 8:00</p>	<p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 今津 寛 衆議院議員 松木 謙公 新党大地 代表 鈴木 宗男</p> <p>国土交通省 北海道局長 田村 秀夫</p> <p>北海道 北海道 副知事 山谷 吉宏 北海道 東京事務所長 岡田 恭一 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 若生 貴仁 札幌市 東京事務所副所長 舘佐 寿彦 苫小牧市 東京事務所長 佐々木 清美 室蘭市 東京事務所長 齋藤 和則</p>
<p>1. 開会の辞 北海道倶楽部理事長 岡村 進</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>3. 来賓挨拶 国土交通省 北海道局長 田村 秀夫 様 北海道 副知事 山谷 吉宏 様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>5. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>6. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)を願います。</p> <p>7. 閉会(流れ解散) 8:00</p>	<p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 今津 寛 衆議院議員 松木 謙公 新党大地 代表 鈴木 宗男</p> <p>国土交通省 北海道局長 田村 秀夫</p> <p>北海道 北海道 副知事 山谷 吉宏 北海道 東京事務所長 岡田 恭一 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 若生 貴仁 札幌市 東京事務所副所長 舘佐 寿彦 苫小牧市 東京事務所長 佐々木 清美 室蘭市 東京事務所長 齋藤 和則</p>		
<p>(2) 平成29年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により2月7日の北方領土の日に東京・千代田区の国立劇場で安倍総理を迎えて元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1600人が参加して平成29年北方領土返還要求全国大会が開催され、倶楽部からも7名の会員が参加した。</p>  <div data-bbox="1050 1220 1436 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">平成29年北方領土返還要求全国大会</p> <p style="text-align: center;">と き 平成29年2月7日 と ころ 国立劇場 大劇場</p>  <p style="text-align: center; font-size: x-small;">主催/北方領土返還要求全国大会実行委員会</p> </div>		
<p>(3) 交流の夕べ 8月4日</p>	<p>北海道倶楽部主催の「第21回交流の夕べ」が8月4日夜、東京・銀座で開かれた。(次第、写真参照)</p> <p>交流の夕べは財政再生中の夕張市支援も目的。倶楽部会員、会員以外を合わせ約100人が参加。開会挨拶では、川村副会長が倶楽部の進めるキャンペーンの現状などを話した。</p> <p>①北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ ②北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」「千島桜」バッジ</p>		

種 別	概 要																				
	<p>③夕張支援などへの地域貢献</p> <p>続いて、国土交通省の田村北海道局長、近藤北海道東京事務所長が祝辞を述べた。また夕張市の古村課長が鈴木市長の「倶楽部の夕張支援に感謝している。ふるさと納税でも夕張を応援してほしい」というメッセージを代読した。</p> <p>懇親会では参加者らが交流。また、「8月4日ビヤホールの日」恒例のサンバチームのダンサーらが会場に姿を見せ、会を盛り上げた。</p>  <div data-bbox="995 322 1474 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第21回公益社団法人北海道倶楽部交流のタベ 平成29年8月4日(金) 銀座クラシックホール</p> <p>次第 (開始18時00分)</p> <table border="0"> <tr><td>1. 開会挨拶</td><td>川村 隆 (副会長)</td></tr> <tr><td>2. 祝辞</td><td>田村 秀夫 様 (国土交通省 北海道局長) 近藤 晃司 様 (北海道東京事務所 所長)</td></tr> <tr><td>3. ご来賓、国会議員ほかご紹介 新入会員ご紹介</td><td>(名簿○印記載の通り) (敬省略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者 (名簿※印記載の通り)</td></tr> <tr><td>4. 夕張からのお願い</td><td>古村 賢一 様 (夕張市 まちづくり企画室工務担当課長)</td></tr> <tr><td>5. 主催者挨拶</td><td>松田 昌士 (会長)</td></tr> <tr><td>6. 乾杯 (18時30分)</td><td>村上 隆男 (副会長)</td></tr> <tr><td>7. 懇談</td><td></td></tr> <tr><td>8. アトラクション</td><td>サンバ (ビヤホールの日恒例)</td></tr> <tr><td>9. 抽選会 (19時30分)</td><td>香西 慧 (副理事長)</td></tr> <tr><td>10. 中締め (20時)</td><td>鈴木 秀一 (評議員会議長)</td></tr> </table> <p>夕張市に支援を!!</p> <p>We Love Hokkaido 北方領土返還・地域活性化・北海道新幹線早期実現 ふるさと納税・キャンペーン</p> <p>北海道新幹線 早期実現 ブラウンリボンバッジ 北方領土返還 千島桜シンボルバッジ 北方領土返還 地域活性化ふるさと納税</p> </div>	1. 開会挨拶	川村 隆 (副会長)	2. 祝辞	田村 秀夫 様 (国土交通省 北海道局長) 近藤 晃司 様 (北海道東京事務所 所長)	3. ご来賓、国会議員ほかご紹介 新入会員ご紹介	(名簿○印記載の通り) (敬省略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者 (名簿※印記載の通り)	4. 夕張からのお願い	古村 賢一 様 (夕張市 まちづくり企画室工務担当課長)	5. 主催者挨拶	松田 昌士 (会長)	6. 乾杯 (18時30分)	村上 隆男 (副会長)	7. 懇談		8. アトラクション	サンバ (ビヤホールの日恒例)	9. 抽選会 (19時30分)	香西 慧 (副理事長)	10. 中締め (20時)	鈴木 秀一 (評議員会議長)
1. 開会挨拶	川村 隆 (副会長)																				
2. 祝辞	田村 秀夫 様 (国土交通省 北海道局長) 近藤 晃司 様 (北海道東京事務所 所長)																				
3. ご来賓、国会議員ほかご紹介 新入会員ご紹介	(名簿○印記載の通り) (敬省略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者 (名簿※印記載の通り)																				
4. 夕張からのお願い	古村 賢一 様 (夕張市 まちづくり企画室工務担当課長)																				
5. 主催者挨拶	松田 昌士 (会長)																				
6. 乾杯 (18時30分)	村上 隆男 (副会長)																				
7. 懇談																					
8. アトラクション	サンバ (ビヤホールの日恒例)																				
9. 抽選会 (19時30分)	香西 慧 (副理事長)																				
10. 中締め (20時)	鈴木 秀一 (評議員会議長)																				
<p>(4) 平成29年度ふるさと北海道応援フォーラム (第4回)</p> <p>協賛 8月31日</p>	<p>道などが主催する「平成29年度ふるさと北海道応援フォーラム」(第4回、倶楽部協賛)が8月31日、東京・飯田橋の「ホテルメトロポリタンエドモント」で開かれ、約200人の参加者が出席した。</p> <p>第1部のセミナーの企業経営者等の講演では、カネカの菅原会長の「ニューフロンティアを開く」、オリエンタルランドの矢島マネージャーの「弟子屈イチゴにおける新たなチャレンジ」の講演が行われた。</p> <p>また辻副知事も2018年の北海道150年をアピールし、優秀な人材確保、良質な食資源、多様なエネルギー資源など「北海道の潜在力は事業展開をする上で高い」などと訴えた。</p> <p>第2部の交流会では松田会長が挨拶を行った。各自治体のブースでは特産品のPRが行われ、大いに盛り上がった。</p> 																				
<p>(5) 北海道フェアに出展 9月28日～ 10月1日</p>	<p>道内の「秋の味覚」を満載した「第29回北海道フェア in 代々木」(実行委主催、北海道倶楽部など後援)が、9月28日から10月1日まで東京・渋谷区の代々木公園で開かれた。週末は天気にも恵まれ、4日間の総来場者数は去年より多い約40万9900人だった。</p>																				

種 別	概 要
	<p>倶楽部はキャンペーンなどをPRするため、「北海道NOW」別冊を11万部作成し、新聞折込で近隣住民に配布した。今回の紙面は、倶楽部のキャンペーン、根室振興局、「NPO法人住んでみたい北海道推進会議」と「北海道150年事業実行委員会」をPRした。</p> <p>倶楽部のブースでは、北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線早期実現キャンペーンなどを行い、キャンペーンバッジやCDの販売、さらに礼文島産「利尻花折昆布」の無料配布を行い、盛り上げた。「NPO法人住んでみたい北海道推進会議」も倶楽部ブース内に出展し、北海道の移住、交流のPRをした。また、今年も北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース横に署名コーナーを設け、内閣府北方対策本部から応援が来て、北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名(合計1,720筆)が寄せられた。</p> 

(6) 第54回交流イベント
10月26日
(旧道産子の会)

北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還促進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第54回交流イベント」が10月26日夜、会員、会員以外も含め約300人が参加して東京・港区の明治記念館で開かれた。

岡村進理事長が「倶楽部では千島桜ねむろプロジェクト、道みらいチャレンジ資金の支援など新たな取り組みを始めた」と開会の挨拶をし、またPMFについても紹介した。

今回のイベントでは3つのブースが出展し、それぞれPRの挨拶をした。根室振興局は「千島桜ねむろプロジェクト」について、北海道総合政策部政策局は「ほっかいどう未来チャレンジ資金」について、そして


平成29年10月26日
18時17分
00分43秒
18時40分

We Love Hokkaido
第54回交流イベント
第1次
18時17分
00分43秒
18時40分
会場
明治記念館
北海道庁本庁舎5階
18時17分
00分43秒
18時40分


一、開会の辞(倶楽部のキャンペーンブースなど紹介)
倶楽部理事長 岡村進
千島桜ねむろプロジェクト
北海道根室振興局北方領土対策課 志幹 讃岐雅詞様
ほっかいどう未来チャレンジ資金
北海道総合政策部政策局 総合政策課 佐々木 徹様
パブリック・ミュージック・フェスティバル(PMF)
公財PMF組織委員会 会長 前札幌市長 上田文雄様
二、国土交通省ご挨拶
北海道局長 田村 秀夫様
三、北海道ご挨拶
北海道 副知事 山谷吉宏様
四、政党、国会議員、国土交通省、北海道、市町村、宮崎県関係者ほかご紹介
松田 昌士
五、倶楽部会長挨拶
六、乾杯(副会長 川村 隆 副会長 小池 明夫
幹事 副会長 村上 陸男 副理事長 香西 慧
七、懇親(18時30分)・PMF演奏(18時40分)
八、福引抽選(19時) 一部・二部
散会(20時)

パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)は前札幌市長の上田



種 別	概 要
	<p>文雄会長が「金銭的な支援を含めPMFへのバックアップをしてほしい」と呼びかけた。PMFの若手演奏家がイベント開始前と乾杯後のアトラクションで演奏し、クラシックや民謡演奏などで参加者を魅了した。</p> <p>懇親会では恒例の福引抽選会や参加者には帯広農業高産のカボチャなどのお土産もありイベントを盛り上げた。御協賛社は67社に上った。</p>
<p>(7) 北方領土返還要求中央アピール行進 参加 12月1日</p>	<p>根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に、毎年開催しており今回で12回目となった。今年の行動には、根室管内出身者をはじめ、各都道府県の返還運動関係者ら約500人が参加した。参加者らは日比谷野外音楽堂を出発しデモ行進。北海道倶楽部からも岡村進理事長、間瀬雅晴評議員会副議長、本間修事務局長ら7人が参加し、「四島は日本固有の領土。島を返せ」などと、シュプレヒコールを繰り返した。(写真参照)</p> 
<p>2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道"NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度は後志管内、胆振管内を順次掲載した。</p> <p>2) 夕張市振興へ協力 8月の交流イベントで夕張振興を訴え、メロンの販売や夕張へのふるさと納税をお願いした。</p> <p>3) 根室振興局管内(北方領土隣接地域)の振興に協力 10月の交流イベントに根室市、別海町、標津町、中標津町、羅臼町を抱える北海道根室振興局がブースを設置、管内企業提供商品の試食会や、福引抽選会に地元の特産品を協賛するなど根室地域の振興の活動を行った。</p>
<p>(2) 北方領土返還推進 「ブラウンリボンバッジ」 「千島桜バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>政府広報「霞が関からお知らせします 2017」でブラウンリボンバッジが</p>

種 別	概 要
	<p>紹介された。BS 日テレ土曜日 20時54分～21時00分 放送日 平成29年2月11日(土)「北方領土問題について動画で見る」 なお「政府広報オンライン」のHPでも公開されている。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年1月) 配布バッジ数累計 40,398個(無料分を含む)(うち本年度配布1,360個) 収入総額 6,644,713円(発注バッジ総数38,577個、発注総額3,855,941円)</p> <p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」 北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資料等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより2013年9月5日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2013年9月) 配布バッジ数累計 2,314個(無料分を含む)(うち本年度配布343個) 収入総額 456,170円(発注バッジ総数4000個、発注総額304,426円)</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のCD配布 北方4島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記CDを、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計477枚、本年度1枚(無料分を含む) 累計収入金額381,600円 本年度収入金額1,000円</p>
(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジについて 絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mmサイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年8月) 配布バッジ数累計 3,361個(無料分を含む)(うち本年度配布100個) 収入総額 559,158円(発注バッジ総数6,000個、金額675,675円) (北海道新幹線(新青森―新函館北斗間は、平成28年3月26日に開業。札幌延伸は平成24年6月工事実施計画が認可され、2030年度末開業予定。)</p>

種 別	概 要
3. キャンペーン推進のための調査研究事業 特別講演会	<p>北海道倶楽部主催の講演会が9月13日、東京・千代田区の「アイオス永田町」で会員外を含め約70人の聴衆を集めて開かれた。北海道新聞前モスクワ特派員の渡辺玲男さんが、「プーチン氏の本音は—北方領土問題は進展するか」と題して講演した。渡辺さんは「領土報道で読者に過度な期待を抱かせるのは禁物。3年半にわたり現地で取材しても、プーチン氏の本音はよくわからないのが正直な印象だ」などと述べ、領土交渉のハードルの高さを強調した。</p> 
4. キャンペーン推進のためのメディア事業 (1) 北海道情報紙「北海道"NOW"」の配布	<p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第710号から第720号まで発行（毎月1日、ただし2月1日号は休刊）会員以外への会報の配布も積極的におこなった。（ふるさと会、北海道情報ラックなど）</p>
(2) 「北海道"NOW"」増刊（別冊）（カラー版）の配布	<p>広報紙「北海道"NOW"」（別冊）の発行配布は公益事業として、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを目指すものである。別冊9号目（第718号別冊10月1日）の発行北海道情報（キャンペーン等）の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11万部印刷し、代々木沿線に新聞（全国紙3紙）の折り込み配布をした。 ・北海道フェア in 代々木会場内北海道倶楽部のブースで配布した。 ・北海道ふるさと会連合会の各会にても配布 ・北方領土隣接地域の特集記事掲載協力を受けた北海道根室振興局に送り配布した。
(3) 北海道情報ラック設置	<p>23カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット（「北海道"NOW"」の紹介頁の市町村などのもの）北海道情報紙「北海道"NOW"」などを毎月送付</p>
(4) 倶楽部ホームページ改訂	<p>平成28年より大幅刷新したHPを今年度も改訂作業を続け、入会申込書やキャンペーンバッジ申込書などを入力後に印刷やメール送信出来る様に修正した。</p>
5. 賛同・後援名義の付与	<ol style="list-style-type: none"> 1) 北海道150年事業への協力 「北海道150年事業実行委員会」松田会長が1月1日付で理事に就任。北海道情報紙「北海道"NOW"」に関連する広報記事掲載。 2) 「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」岡村理事長が顧問に就任。交流イベントで賛助演奏披露頂く。 3) ふるさと会連合会「第23回産直フェア」（北海道フェア） 4) 平成29年度「ふるさと北海道応援フォーラム」 5) 北海道が推進する「北海道・ロシア地域間協力チーム」に参加（情報収集） <p style="text-align: right;">以上</p>

平成29年度 会員異動状況

(平成29年12月末現在)

	単位	平成 28 年度 末	内 容			平成 29 年度 末
			増	減	差引	
維持 会 員	社数 (社)	131	1	7	△6	125
	口数 (口)	206	1	17	△16	190
	登録 会 員 数 (名)	260	36	45	△9	251
正会員数 (名)		176	14	14	0	176
個人会員数 合 計 (名)		436	50	59	△9	427

損益計算書（正味財産増減計算書）

損益計算書（正味財産増減計算書）

区分経理内訳 平成29年1月1日～平成29年12月31日		平成29年決算			平成29／28年度増減		
		公益事業会計	法人会計	合計			
・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ・イベントの会合費及びイベントの収入は40%を法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
経常収益 (収入)	(1) 経常収益 [収入]						
	受取会費 (入会金)	20,000	20,000	40,000	30,000	10,000	
	(正会員会費収入)	1,185,000	1,185,000	2,370,000	2,475,000	△ 105,000	
	(維持会員会費収入)	2,820,000	2,820,000	5,640,000	6,000,000	△ 360,000	
	事業収入 (広告収入)	1,906,104	0	1,906,104	3,248,104	△ 1,342,000	
	(交流、キャンペーン等収入)	3,105,455	1,916,400	5,021,855	6,243,203	△ 1,221,348	
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	3,094,000	0	3,094,000	3,161,000	△ 67,000	
	受取利息	0	91	91	786	△ 695	
	雑収入	0	21,653	21,653	39,940	△ 18,287	
		経常収入計 (収入高合計)	12,130,559	5,963,144	18,093,703	21,198,033	△ 3,104,330
経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費				
	給料手当	3,873,001	2,515,334	6,388,335	6,492,204	△ 103,869	
	法定福利費	286,720	191,147	477,867	474,113	3,754	
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000	75,000	0	
	外注費	2,787,180	49,680	2,836,860	4,683,614	△ 1,846,754	
	荷造運賃	217,117	1,560	218,677	165,697	52,980	
	広告宣伝費	1,006,862	0	1,006,862	1,471,278	△ 464,416	
	会議費	52,272	61,072	113,344	92,472	20,872	
	旅費交通費	64,290	3,000	67,290	73,930	△ 6,640	
	通信費	950,519	287,175	1,237,694	1,334,532	△ 96,838	
	会合費	2,981,111	1,954,074	4,935,185	5,356,824	△ 421,639	
	消耗品費	224,991	221,469	446,460	849,773	△ 403,313	
	新聞図書費	105,888	0	105,888	105,888	0	
	諸会費	5,000	0	5,000	5,000	0	
	賃借料	87,851	58,567	146,418	173,381	△ 26,963	
	租税公課				20,900	△ 20,900	
		雑費	178,130	267,645	445,775	404,697	41,078
		経常費用計 (事業費・管理費計)	12,865,932	5,640,723	18,506,655	21,779,303	△ 3,272,648
当期経常増減額 (事業損益金額)		△ 735,373	322,421	△ 412,952	△ 581,270	168,318	
特別損益	前期損益修正益	3,000	0	3,000	0	3,000	
	前期損益修正損	0	3,000	3,000	0	3,000	
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)		△ 732,373	319,421	△ 412,952	△ 581,270	168,318	
一般正味財産期首残高				6,120,434	6,701,704	△ 581,270	
一般正味財産期末残高				5,707,482	6,120,434	△ 412,952	
III 正味財産期末残高				5,707,482	6,120,434	△ 412,952	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

貸借対照表

貸借対照表

(平成29年12月31日)

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金・預金	5,972,449	5,980,094	△ 7,645	
貯蔵品	203,556	277,742	△ 74,186	バッジ対価の使用待ち切手等
キャンペーン品	686,178	822,323	△ 136,145	キャンペーン用バッジ等の在庫を計上
未収入金	0	77,544	△ 77,544	
仮払金	0	19,218	△ 19,218	新年交礼会用はがき
流動資産合計	6,862,183	7,176,921	△ 314,738	
2. 固定資産				
什器備品	3,000	3,000	0	
電話加入権	1	1	0	備忘価額
固定資産合計	3,001	3,001	0	
資産合計	6,865,184	7,179,922	△ 314,738	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	102,501	45,568	56,933	後納郵便代
仮受金	244,201	277,920	△ 33,719	源泉所得税預かりほか
流動負債合計	346,702	323,488	23,214	
2. 固定負債				
退職給与引当金	811,000	736,000	75,000	従業員退職引当(1人分)
固定負債合計	811,000	736,000	75,000	
負債合計	1,157,702	1,059,488	98,214	
III 正味財産の部				
一般正味財産 (正味財産期末残高)	5,707,482	6,120,434	△ 412,952	
正味財産合計	5,707,482	6,120,434	△ 412,952	
負債および正味財産合計	6,865,184	7,179,922	△ 314,738	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

財産目録

財 産 目 録

(平成29年12月31日現在)

(単位円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
(流動資産)						
現金・預金		運転資金として	5,972,449	5,980,094	△ 7,645	
預金	普通預金 みずほ銀行町会館出張所1		226,951	3,926,748	△ 3,699,797	口座番号1784368
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		1,321,426	229,454	1,091,972	口座番号0123000
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		450,586	450,886	△ 300	口座番号0546136
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	口座番号0008884
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	口座番号0017317
貯金	郵便振替預金		3,673,486	1,073,006	2,600,480	口座番号00170-0-44997
貯蔵品計		在庫として	203,556	277,742	△ 74,186	
切手	事務所保管		148,902	144,051	4,851	バッジ対価の使用待ち切手
はがき	返信先印刷済事務所保管		0	111,609	△ 111,609	返信用はがき
はがき	事務所保管		54,654	15,962	38,692	
レターパック	事務所保管		0	6,120	△ 6,120	バッジ等送付用
キャンペーン品計		在庫として	686,178	822,323	△ 136,145	キャンペーン用バッジ等の在庫
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		152,476	249,178	△ 96,702	
千島桜バッジ	事務所保管		138,622	164,965	△ 26,343	
CD	事務所保管		88,400	88,740	△ 340	
新幹線バッジ	事務所保管		306,680	319,440	△ 12,760	
未収入金		会員会費収入ほか	0	77,544	△ 77,544	会員会費収入ほか
仮払金			0	19,218	△ 19,218	新年交礼会案内ハガキほか
流動資産合計			6,862,183	7,176,921	△ 314,738	
(固定資産)						
什器備品計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルグ」	事務所保管		1,000	1,000	0	
絵画 西村貴久子 「流水」	事務所保管		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管		1,000	1,000	0	
電話加入権		備忘価額	1	1	0	備忘価額
固定資産合計			3,001	3,001	0	
資産合計			6,865,184	7,179,922	△ 314,738	
(流動負債)						
未払金			102,501	45,568	56,933	後納郵便代ほか
仮受金計			244,201	277,920	△ 33,719	
年会費		先払い会費	0	30,000	△ 30,000	先払い会費
源泉所得税			239,480	239,910	△ 430	源泉所得税
雇用保険ほか			4,721	8,010	△ 3,289	
流動負債合計			346,702	323,488	23,214	
(固定負債)						
退職給与引当金		従業員退職引当	811,000	736,000	75,000	
固定負債合計			811,000	736,000	75,000	
負債合計			1,157,702	1,059,488	98,214	
正味財産合計			5,707,482	6,120,434	△ 412,952	
負債および正味財産合計			6,865,184	7,179,922	△ 314,738	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法)

平成29年1月1日～平成29年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	△ 412,952	△ 412,952
貯蔵品(増減)	△ 74,186	74,186
キャンペーン品(増減)	△ 136,145	136,145
未収入金(増減)	△ 77,544	77,544
仮払金 (増減)	△ 19,218	19,218
固定資産 (増減)	0	0
未払金 (増減)	56,933	56,933
仮受金 (増減)	△ 33,719	△ 33,719
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
	キャッシュフロー	△ 7,645

科 目	当年度	前年度
現金・預金	5,972,449	5,980,094

増減
△ 7,645

計算書類に対する注記

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針ほか

- (1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。
- (2) 会費収入は、原則公益法人会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。
公益社団法人北海道倶楽部会費規程
(会費の使途)
第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。
- (3) 寄附金は公益法人会計に配賦した。
- (4) 下記科目は配賦基準により公益事業会計と法人会計に区分し配賦した。

科目	総額	公益事業会計配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計配賦割合
入会金	40,000	20,000	20,000	公益収益割合	50%
正会員会費収入	2,370,000	1,185,000	1,185,000	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	5,640,000	2,820,000	2,820,000	公益収益割合	50%
交流、キャンペーン等総計	5,021,855	3,105,455	1,916,400		
交流、キャンペーン等収入 内 バッジ等キャンペーン事業収入	230,855	230,855	0	個別配賦	100%
交流、キャンペーン等収入 内 交流イベント等収入	4,791,000	2,874,600	1,916,400	対応の割合	60%
給料手当 総計	6,388,335	3,873,001	2,515,334		
給料手当 職員給料手当	6,338,335	3,823,001	2,515,334	従事割合	60%
給料手当 諸謝金等	50,000	50,000	0	従事割合	100%
法定福利費	477,867	286,720	191,147	従事割合	60%
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
外注費 総計	2,836,860	2,787,180	49,680		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,787,180	2,787,180	0	個別配賦	100%
外注費 総会議案印刷等	49,680	0	49,680	個別配賦	0%
荷造運賃 総計	218,677	217,117	1,560		
荷造運賃 公益事業分	217,117	217,117	0	個別配賦	100%
荷造運賃 法人会計対応運賃	1,560	0	1,560	個別配賦	0%
会議費 総計	113,344	52,272	61,072		
会議費 公益事業分	52,272	52,272	0	個別配賦	100%
会議費 理事会等法人会計対応分	61,072	0	61,072	個別配賦	0%
旅費交通費 総計	67,290	64,290	3,000		
旅費交通費 公益事業分	64,290	64,290	0	個別配賦	100%
旅費交通費 理事会等法人会計対応分	3,000	0	3,000	個別配賦	0%
通信費 総計	1,237,694	950,519	287,175		
通信費 公益事業分	833,197	833,197	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	208,959	0	208,959	個別配賦	0%
通信費 公益・法人会計振分対応分	195,538	117,322	78,216	使用割合	60%
会合費 総計	4,935,185	2,981,111	1,954,074		
会合費 公益事業分	50,000	50,000	0	個別配賦	100%
会合費 公益・法人会計振分対応分	4,885,185	2,931,111	1,954,074	対応の割合	60%
消耗品費 総計	446,460	224,991	221,469		
消耗品費 公益事業分	224,991	224,991	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	221,469	0	221,469	個別配賦	0%
賃借料（事務所使用料）	146,418	87,851	58,567	使用割合	60%
雑費 総計	445,775	178,130	267,645		
雑費 公益事業分	178,130	178,130	0	個別配賦	100%
雑費 理事会等法人会計対応分	267,645	0	267,645	個別配賦	0%

- (5) 償却すべき固定資産はない。
- (6) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は期末要支給額の100%を計上している。
- (7) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	5,972,449	5,980,094	△ 7,645
その他流動資産	889,734	1,196,827	△ 307,093
流動資産合計	6,862,183	7,176,921	△ 314,738
その他流動負債	346,702	323,488	23,214
流動負債合計	346,702	323,488	23,214
差額	6,515,481	6,853,433	△ 337,952
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	3,001	3,001	0
固定負債	811,000	736,000	75,000
差額	△ 807,999	△ 732,999	△ 75,000
正味財産合計	5,707,482	6,120,434	△ 412,952

平成30年2月15日

公益社団法人北海道倶楽部
理事長 岡村 進殿

監査報告書

法令及び定款第23条に基づき、各監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

平成29年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

公益社団法人北海道倶楽部
監事 五十嵐 紀男 ⑩

監事 亀岡 義一 ⑩

平成29年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

平成30年3月9日

公益社団法人 北海道倶楽部

理事長 岡村 進 ⑩

平成 30 年度事業計画書

平成 30 年度事業計画書

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
平成 30 年度事業計画	公益事業推進を着実にを行い、公益社団法人としての体制確立を進める。
1. 基本方針	
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会費収入の確保や昨年認められた寄附金の税額控除を活用し、寄付を活用した公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・ 引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。(役員改選期にあたるので、適切な事業執行体制の構築に務める。) ・ 当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。 ・ 評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。 ・ 北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実をはかる。 ・ 本年度は隔年の会員名簿発行年であるが、本年度の会員名簿にも公益事業の為の頁を設ける。
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ○ 「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ○ 下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。
広報活動	<p>(1) 北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)を発行する。 ・ 道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充、HP 版の発行を企画する。 ・ 北海道のためインフォメーションの頁で北海道等(行政や各種団体)の広報を行う。 ・ 「北海道 NOW」の新聞折り込み配布やポスティングによる配布を行う。 ・ HP の活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・ 倶楽部の各種イベントでの北海道等のための広報活動を行う。
地域活性化事業支援	<p>(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域 1 市 4 町で構成)」、「NPO 法人 住んでみたい北海道推進会議(正・団体会員 213 で構成)」など、北海道等から依頼されている地域視察、地域振興等に協力する。
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD の頒布を行う。 ・ 北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。 ・ 内閣府(含む倶楽部)などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」(2 月 7 日、北方領土の日、例年総理大臣が出席)に参加する。

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」(12 月 1 日、銀座行進)に参加する。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動や北方領土返還要求署名活動を行う。
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄付の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄付の推進キャンペーン活動を行う。
新幹線早期実現	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
北海道 150 年事業への協力	<p>(6) 「北海道」と命名されてから 150 年目となる 2018 年(平成 30 年)を節目と捉え行う、北海道 150 年事業に北海道活性化のために協力する。(北海道情報紙「北海道 NOW」に掲載するなど)</p>
北海道情報紙講演会の開催イベントの開催・参加	<p>(7) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記の手法・方策等を総合的に適用し推進する。(一部重複・再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・キャンペーン(北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現)をテーマに「新年交礼会」を開催する。(150 人規模) ・キャンペーンをテーマに夏に「交流の夕べ」を開催する。(100 人規模) ・キャンペーンをテーマに秋に「交流イベント」を開催する。(300 人規模) ・代々木の北海道フェア(例年来場者 40 万人)に参加し、キャンペーンのブースを出展し、北方領土返還要求署名活動(例年 1000 筆以上)に協力する。 ・「北方領土返還要求全国大会」(2 月 7 日、北方領土の日)に参加する。 ・「北方領土返還要求中央アピール行進」(12 月 1 日)に参加する。 ・北海道が主催する「ふるさと北海道応援フォーラム」を後援し、協力する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・食・環境問題・その他について、当倶楽部として今後実施すべき事業を検討する。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 イベント・交流会等は HPなどで会員外、一 般へ参加案内する 部会対応 キャンペーン等の内容 詳細は担当の部会で今 後検討し実施する。	新年交礼会開催 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーンの年初スタートを実施。	1月26日
	「北方領土返還要求全国大会」に参加（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加	2月7日 12月1日
	交流の夕べを開催 キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。	8月3日予定
	代々木北海道フェアへ出展 代々木公園のイベントスペースに出展 キャンペーン・情報展示のためイベントに参加、情報展示イベントを実施。 情報紙「北海道"NOW"」別冊11万部発行、代々木中心に全国紙折込 （当倶楽部の公益事業、道内情報を広報することを主旨とするキャンペーンなど。北方領土返還要求署名活動など。）	10月 （10月5日～ 10月8日）
	交流イベント「We Love Hokkaido」の開催 （旧道産子の会） 会員、北海道関係者、北海道ファン、一般参加者300名、有料1万円 キャンペーン、公益事業の広報などを実施。	10月19日 予定
	講演会、シンポジウムの開催 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般も参加出来、無料 （講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、一般参加を呼びかける。）	未定（講師、 会場等のスケ ジュールによ る）
	情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」本紙・別冊年 12回）を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、 発行体制を整備。一般配布（有料 月額80円）有り。 「北海道の市町村をご紹介します」及び「北海道"NOW"information」を引き続き本 年も掲載する。	毎月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配布する。（無料配布）	毎月
	ホームページでの広報 倶楽部の対外的広報のため、内容の刷新に務める。	随時
	倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・独立会計、北星会（ゴルフ）、囲碁会）	

平成30年度収支予算書

平成30年収支予算書

		公益事業会計	法人会計	合計
・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ・イベント会場に支払う飲食・会場費及びイベント会費等関連収入は40%を法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
経常 収 益 (収 入)	(1) 経常収益 [収入]			
	受取会費 (入会金)	17,500	17,500	35,000
	(正会員会費収入)	1,177,500	1,177,500	2,355,000
	(維持会員会費収入)	2,865,000	2,865,000	5,730,000
	事業収入 (広告収入)	1,904,604	1,400,000	3,304,604
	(交流、キャンペーン等収入)	3,545,313	1,472,400	5,017,713
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	3,094,000	0	3,094,000
	受取利息	0	89	89
	雑収入	0	21,653	21,653
	経常収入計 (収入高合計)	12,603,917	6,954,142	19,558,059
経常 費 用 (事 業 費 ・ 管 理 費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	3,588,928	2,859,286	6,448,214
	法定福利費	293,710	195,807	489,517
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000
	外注費	2,562,690	689,680	3,252,370
	荷造運賃	217,117	1,560	218,677
	広告宣伝費	1,006,862	0	1,006,862
	会議費	52,272	35,800	88,072
	旅費交通費	60,880	8,000	68,880
	通信費	865,589	489,530	1,355,119
	会合費	4,885,185	77,000	4,962,185
	消耗品費	224,991	214,455	439,446
	事務用品費	0	0	0
	新聞図書費	105,888	0	105,888
	諸会費	5,000	0	5,000
	賃借料	87,851	58,567	146,418
	租税公課	0	0	0
雑費	175,344	261,065	436,409	
経常費用計 (事業費・管理費計)	14,177,307	4,920,750	19,098,057	
当期経常増減額 (事業損益金額)		-1,573,390	2,033,392	460,002
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)		-1,573,390	2,033,392	460,002
一般正味財産期首残高				5,762,436
一般正味財産期末残高				6,222,438
III 正味財産期末残高				6,222,438

理事及び監事選任（選任決議事項） その他	
<p>理事及び監事の選任</p> <p>次期理事・監事 （本総会決議事項） 任期 本総会終結後から、 本総会終結後2年以内 に終了する事業年度の うち、最終のものに関 する定時会員総会の終 結の時まで （平成32年3月まで の予定）</p>	<p>現在の理事及び監事は本会員総会終了時に全員任期が終了となります。 定款第21条第1項により、本会員総会の決議により選任すべき理事及び監事 については、以下の候補者を理事及び監事に選任頂きますようにお願いします。</p> <p>（1）理事の候補者 再任（重任） 松田昌士、川村隆、小池明夫、村上隆男、岡村進、本間修 新任 大久保尚武（積水化学工業株式会社相談役）、佐藤育男（株式会社日本製鋼所相談役）、 鈴木秀一（無臭元工業株式会社取締役相談役） なお、副理事長 香西慧は任期終了により退任します。</p> <p>（2）監事の候補者 再任（重任） 五十嵐紀男 新任 鐵川照夫（鐵川公認会計士事務所代表者、公認会計士・税理士・行政書士） なお、監事 亀岡義一は任期終了により退任します。</p>
<p>その他</p>	<p>本総会終了後最初の理事会（書面）決議について</p> <p>定款第21条第2項に定める、理事の中より理事会の決議により定めること とされる、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理 事1名は標記理事会で定める予定です。</p> <p>なお、定款第22条第5項の定めで、会長及び理事長は一般法人法第91条 第1項第1号に定める代表理事、副会長、副理事長及び常務理事は同第2号 に定める業務を執行する理事とされます。</p> <p>本会員総会終了時に全員任期が終了となる「評議員」及び「相談役ほか」の選 任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款第24条第2項により、正会員若しくは登録会員の中から理事会の推薦 により、理事長が委嘱する50名以内の「評議員」についても標記理事会（原 則として）で推薦される予定です。 ・定款25条に係る「相談役他の各役員」も標記理事会（原則として）で推薦 する予定です。 ・定款第39条第2項により、会員のうちから理事会が選任する「部会の構成員」 は別途、本総会後早い時期に、開催される理事会で決議が行われる予定です。

公益社団法人北海道倶楽部 平成29年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 岡村 進

公印省略

平成29年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参集下さい。

記

開催日時：

平成30年3月9日12時30分より（約1時間の予定。12時開場。昼食の用意はありません。）

開催場所：

永田町ほっかいどうスクエア2階会議室（北海道倶楽部事務所の2階、貸会議室なので開場前には入れません。少々手狭です。）
千代田区永田町2-17-17、03-3581-4021(北海道倶楽部の電話番号)

議事に付すべき事項：

別紙「平成29年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。
(登録会員は議決権はありませんが、維持会員として、維持会員の議決権行使書を持参し、議決権を行使することが出来ます。)

議決権行使方法について：

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」(欠席で「委任による議決権行使」欄が無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。)
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】(はがき)に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに(5日まで、遅くとも総会開催まで)に北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員(社員)の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】(はがき)の用紙(右欄参照)を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

1. 会員総会出席による議決権行使：

会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案(本書)」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：(定款第18条第2項)

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

受任者は原則として議決権行使書を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：(定款第18条第1項)

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】(はがき)に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

(下記□にチェックを入れ**至急**送ってください。)

未記入の場合議決権行使を議長に委任するとさせていただきます。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

- 出席 (議決権行使書と議案をご持参ください。)
- 欠席 (委任もしくは事前議決権行使)

【委任による議決権行使】(記入がない場合は議長とします。)

- 議長に委任する。
- 議決権行使書持参者に委任する。

▼出席、委任されない方。

【事前議決権行使】(“否”の場合のみ下記□内に×をご記入ください。)

第1号議案●承認事項

- 損益計算書(正味財産増減計算書)
- 貸借対照表 財産目録
- キャッシュフロー計算書
- 計算書類に対する注記

第3号議案●選任事項

(1) 理事(候補者)

- 松田昌士 本間修
- 川村隆 以下**新任候補**
- 小池明夫 大久保尚武
- 村上隆男 佐藤育男
- 岡村進 鈴木秀一

(2) 監事(候補者)

- 五十嵐紀男
- 新任候補
- 鐵川照夫

平成30年3月9日(正会員・維持会員のID、お名前(ご担当))

(ID-0000 正又は維持会員)

維持会員名 若しくは 正会員名
維持会員のご担当者

至急送付ください。3月5日**必着**でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。
NO. 1001

公益社団法人北海道倶楽部 (TEL:03-3581-4021)

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail: hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp